

必要出展者のみ

提出期限 9月30日(水)

マニュアル参照先 P.36~41



No.11A 重量物の展示許可申請①(無料)

提出先	IPF事務局 メール:office_ipfjapan@ipfjapan.jp FAX:03-6630-7068 TEL:03-6273-2966
-----	---

出展者名				提出日	月	日
部署/役職						
担当者氏名				小間番号		
TEL			E-mail			

以下のとおり、重量物の設置および搬入出計画を申請します。

<input type="checkbox"/> 重量が 5t を超える重量物 (機械、装飾物など) を設置する場合。 ※実演を伴う場合は動荷重を考慮すること。(動荷重で 5t を超えるもの)	→	①「本書面」 ②「No.11B 重量物リスト」 ③「重量物ブース内レイアウト図」 ④「重量物の詳細資料」	} を提出してください。
<input type="checkbox"/> 運搬車両 (トレーラー等) の総重量 (車両重量+積載重量) が 30t を超える場合。	→	①~④に加えて、 ⑤「No.11C 重量物搬入出車両リスト」 ⑥「重量物積み降ろし作業計画図」	
<input type="checkbox"/> クレーン作業時のアウトリガー1か所に掛かる荷重が 7t を超える場合。	→	⑤「No.11C 重量物搬入出車両リスト」 ⑥「重量物積み降ろし作業計画図」	} を提出してください。
<input type="checkbox"/> 上記のいずれにも該当しない。	→	届出は不要です。電気・機械・サブピットの蓋部分に荷重がかからないように注意して、ブース内のレイアウトおよび設置作業を行ってください。	

【提出書類一覧】

①本書「No.11A重量物の展示許可申請」

②「No.11B重量物リスト」

設置を予定している重量物のリストを作成し、提出してください。リストのフォーマットは次ページ以降を参照してください。

③「重量物ブース内レイアウト図」

IPF Japan公式ウェブサイト掲載の「PC板配置(重量物展示用)」図面を参照のうえ、自ブース内の重量物の設置レイアウト図面を作成し、提出してください。設置レイアウト図面は次ページ以降の作成要領に従って作成してください。

④「重量物の詳細資料」

設置を予定している重量物の寸法および接地部分が正確に記載されたカタログまたは設計図面を提出してください。

⑤「No.11C重量物搬入出車両リスト」

使用を予定している重量物搬入出車両のリストを作成し、提出してください。リストのフォーマットは次ページ以降を参照してください。

⑥「重量物積み降ろし作業計画図」

IPF Japan公式ウェブサイト掲載の「PC板配置(重量物展示用)」図面を参照のうえ、重量物の積み降ろし時の作業計画図面を作成し、提出してください。作業計画図面は次ページ以降の作成要領に従って作成してください。

※③と⑥について、重量物および同搬入出車両/アウトリガー位置の変更、ならびに鉄板敷設等による荷重分散をお願いする場合があります。

※荷重分散のための鉄板敷設位置は、提出図面に基き幕張メッセにて確認のうえ変更をお願いする場合があります。(ブース内は出展者負担、共有通路は主催者負担。)

注意!!

重量物の搬入出および設置には会場施設(幕張メッセ)の承認が必要です。
 必要書類を提出していない、または幕張メッセの承認を得ていない場合、会場への搬入はできません。
 会場の床面を破損することがないように、必ず出展マニュアルを十分に確認したうえで計画を立ててください。
 万が一床面を破損した場合、莫大な賠償額が課されるおそれがあります。慎重な対応をお願いします。

必要出展者のみ

提出期限 9月30日(水)

マニュアル参照先 P.36~41



No.11B 重量物 提出書類②「重量物リスト」

提出先 IPF事務局
 メール:office_ipfjapan@ipfjapan.jp FAX:03-6630-7068 TEL:03-6273-2966

出展者名				提出日	月	日
部署/役職						
担当者氏名				小間番号		
TEL			E-mail			

以下のとおり、重量物の設置および搬入出計画を申請します。 ※IPF Japan公式ウェブサイトから「提出用フォーマット」をダウンロードできます。

②重量物リスト(実演など稼働を伴う設置の場合は動荷重で5tを超えるもの)

No.	製品名	本体重量(a) ※静荷重	付属品重量(b) ※本体に荷重がかかる場合のみ	合計重量 (a+b)	実演(稼働) の有無	動荷重
記入例	射出成形機A IPFMC-100	6.60t	金型0.8t、乾燥機0.2t、 取出し機0.4t	8.00t	あり	8.20t
記入例	射出成形機C IPFMC-300J	18.00 t	なし	18.00t	なし	
記入例	印刷機 IPFPRN-02V	8.00t	なし	8.00t	あり	9.20t
②-1						
②-2						
②-3						
②-4						
②-5						
②-6						
②-7						
②-8						
②-9						
②-10						
②-11						
②-12						
②-13						
②-14						
②-15						

備考

必要出展者のみ

提出期限 9月30日(水)

マニュアル参照先 P.36~41



No.11C 重量物提出書類⑤「重量物搬入出車両リスト 1/2」

提出先 IPF事務局
 メール:office_ipfjapan@ipfjapan.jp FAX:03-6630-7068 TEL:03-6273-2966

出展者名				提出日	月	日
部署/役職						
担当者氏名				小間番号		
TEL			E-mail			

以下のとおり、重量物の設置および搬入出計画を申請します。 ※IPF Japan公式ウェブサイトから「提出用フォーマット」をダウンロードできます。

⑤重量物搬入出車両リスト

a.搬入出車両(総重量が30tを超える)リスト

No.	積載物	積載物重量 (b)	搬入出車両車種	搬入出車両自重 (a)	合計重量 (a+b)
記入例	射出成形機B IPFMC-501 型締側	23.60t	いすゞ ギガ 6WG1-TCC	14.70t	38.30t
⑤-1					
⑤-2					
⑤-3					
⑤-4					
⑤-5					

b.クレーン車+吊り込み物の重量(アウトリガー1か所に掛かる荷重が7tを超える)リスト

No.	吊り込み物	吊込物重量 (b)	クレーン車種	クレーン車自重 (a)	合計重量 (a+b)	アウトリガー1か所に掛かる最大荷重
記入例	射出成形機A IPFMC-100	8.00t	タダノ GR-250N	25.60t	33.60t	8.40t/か所
記入例	射出成形機B IPFMC-501 型締側 ※クレーン車2台で共吊り。	23.60t	タダノ GR-250N	25.60t	37.40t	9.35t/か所
			タダノ GR-250N	25.60t	37.40t	9.35t/か所
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						

備考

No.11C 重量物提出書類⑤「重量物搬入出車両リスト 2/2」

※IPFJapan公式ウェブサイトから「提出用フォーマット」をダウンロードできます。

⑤重量物搬入出車両リスト

c. 搬入出車両(総重量が30tを超える)の図面(ホイールベース、トレッド、軸重が明示されたもの)

No.	⑤-1						
積載物				車種			
各重量	A車軸	B車軸	C車軸	D車軸	E車軸	F車軸	合計重量
搬入出車両自重							
積載物重量							
合計重量							
車両図 (記入または添付)							

No.	⑤-2						
積載物				車種			
各重量	A車軸	B車軸	C車軸	D車軸	E車軸	F車軸	合計重量
搬入出車両自重							
積載物重量							
合計重量							
車両図 (記入または添付)							

No.11 重量物の展示許可申請 作成要領 1/2

1) 展示会場の耐荷重

展示会場の床の耐荷重は以下のとおりです。

床面 PC板1枚あたり5tまで。PC板のサイズは2m(東西方向)×5m(南北方向)。

※展示会場の床面は、重量物を設置すると表層コンクリートの下部にあるPC板(プレキャスト鉄筋コンクリート製の板、目視できません)が荷重を受けてピット梁へ伝達し、それを杭で支える構造です。PC板の下は空洞です。

※ホール境界部分は、PC板のサイズが異なります。IPF Japan公式ウェブサイト掲載の「PC板配置(重量物展示用)」図面を確認してください。

ピット蓋 1枚あたり1tまで。(できるだけ荷重を避けてください。)

2) 「重量物リスト」の作成

記入例 ※IPF Japan公式ウェブサイトから「提出用フォーマット(Excelファイル)」をダウンロードできます。

重量物リスト(実演など稼働を伴う設置の場合は動荷重で5tを超えるもの)

No.	製品名	本体重量(a) ※静荷重	付属品重量(b) ※本体に荷重がかかる場合のみ	合計重量 (a+b)	実演(稼働)の有無	動荷重
1	射出成形機A IPFMC-100	6.60t	金型0.8t、乾燥機0.2t、取出し機0.4t	8.00t	あり	8.20t
2	射出成形機C IPFMC-300J	18.00t	なし	18.00t	なし	
3	印刷機 IPFPRN-02V	8.00t	なし	8.00t	あり	9.20t

3) 「重量物ブース内レイアウト図」の作成

「重量物ブース内レイアウト図」は以下の要領に従って作成してください。

→まずは小間割り図面を準備。※ IPF Japan公式ウェブサイトから「PC板配置(重量物展示用)」図面をダウンロードできます。

①縮尺の正確な図面(1/100、1/50など)をご用意ください。

②ピット(電気・機械・サブピット)の位置を図面に記載してください。

・電気ピットと機械ピットは6m間隔で東西方向(小間図面の左右)に延びています。サイズは蓋の部分が幅80cmで梁部分は、蓋の上下各10cmとなります。(合計1m)

・サブピットは15m間隔で南北方向(小間図面の上下)に延びています。サイズは蓋の部分が幅25cmで、梁部分はありませぬ。

③図面の上下左右がわかるように隣接の会社名を記載してください。

→ここからが実際のレイアウト。

④各機械の配置を正確に図面に落とし込んでください。

⑤1枚のPC板に合計して5tを超える荷重がかかる場合は、他のPC板への荷重分散を行ってください。荷重分散の手段は、原則として鉄板敷設による養生とします。

敷設する鉄板は、幅1.2m超×2m超で厚さが22mm以上のものを使用してください。

⑥以下を図面上に記載してください。

a.重量物(機械/装飾物等)単体の重量、実演の有無

b.接地位置および接地面の面積(形状)

c.各接地ポイントにかかる静荷重(展示物を稼働させる場合は動荷重も併記)

⑦荷重分散のための鉄板等敷設位置については、提出書類に基づき幕張メッセにて確認のうえ変更をお願いする場合があります。

★機械下に鉄板養生をしなくても良い配置のヒント。

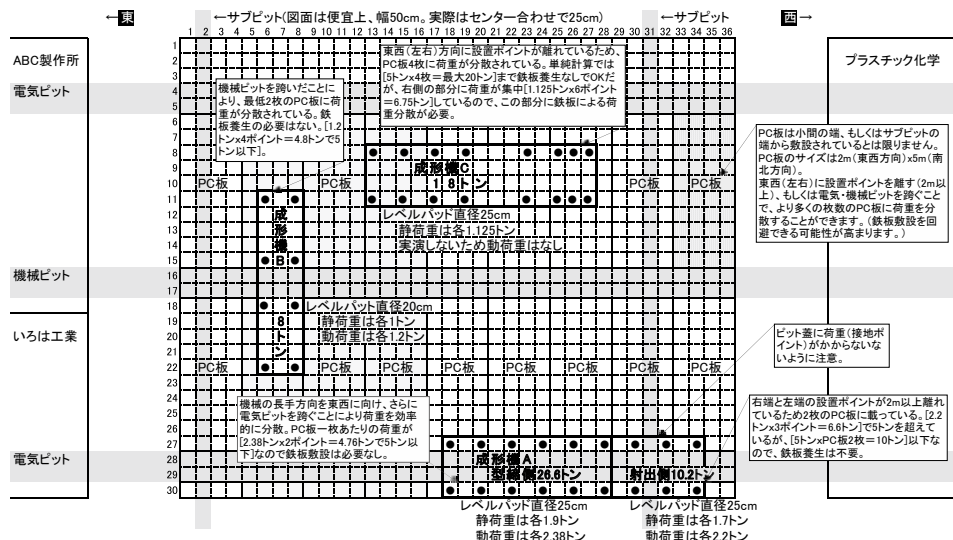
⇒できるだけ多くのPC板に荷重を分散することが必要です。

成形機A:機械の長手が東西方向(電気・機械ピットと平行)になるように配置。

成形機B:電気・機械ピット(サブピットは関係ありません。)を跨ぐ(※ピット蓋に足がかからないように注意)。

成形機C:下記の例では成形機Cのみ鉄板養生による荷重分散が必要

●下記は30小間の例【6小間(18m)×5小間(15m)。1マスは50cm。】



No.11 重量物の展示許可申請 作成要領 2/2

4)「重量物の詳細資料」の用意

設置を予定している重量物の寸法および接地部分(脚の位置、接地部の面積)が正確に記載されたカタログまたは設計図面を提出してください。

5)「重量物搬入出車両リスト」の作成

総重量が30t(車両重量+積載重量)を超えるトレーラーまたはクレーンについて、記入例を参考にリストを作成してください。

記入例 ※IPF Japan公式ウェブサイトから「重量展示用提出書類フォーマット(Excelファイル)」をダウンロードできます。

a.搬入出車両(総重量が30tを超える)リスト

No.	積載物	積載物重量 (b)	搬入出車両車種	搬入出車両自重 (a)	合計重量(a+b)
1	射出成形機B IPFMC-501 型締側	23.60t	いすゞギガ 6WG1-TCC	14.70t	38.30t

b.クレーン車+吊り込み物の重量(総重量が30tを超える)リスト

No.	吊り込み物	吊込物重量 (b)	クレーン車種	クレーン車自重 (a)	合計重量(a+b)
1	射出成形機A IPFMC-100	8.00t	タダノ GR-250N	25.60t	33.60t
2	射出成形機B IPFMC-501 型締側 ※クレーン車2台で共吊り。	23.60t	タダノ GR-250N	25.60t	37.40t
			タダノ GR-250N	25.60t	37.40t

c.搬入出車両(総重量が30tを超える)の図面(ホイールベース、トレッド、軸重が明示されたもの)

No.	⑤-1						
積載物	射出成形機B IPFMC-501 型締側			車種	いすゞギガ 6WG1-TCC		
	A車軸	B車軸	C車軸	D車軸	E車軸	F車軸	合計重量
搬入出車両自重	5.00t	2.10t	2.20t	1.80t	1.80t	1.80t	14.70t
積載物重量	0.50t	4.80t	4.80t	4.50t	4.50t	4.50t	23.60t
合計重量	5.50t	6.90t	7.00t	6.30t	6.30t	6.30t	38.30t

車両図 (記入または添付)

6)「重量物積み降ろし作業計画図」の作成

「重量物積み降ろし作業計画図」は以下の要領に従って作成してください。

- ①作成した「重量物ブース内レイアウト図」の複製図をご用意ください。
- ②以下の事項を図面上に追記してください。
 - a.総重量が30t(車両重量+積載重量)を超える重量物搬入出車両の停車位置。
 - b.クレーン車の停車位置とアウトリガー接地位置。
 - c.吊り込み時のアウトリガー接地位置の最大反力値(クレーン車の製造元ウェブページでの計算結果を参照のこと)。
- ③総重量が30tを超える車両およびクレーン車の通行経路と停車位置には、鉄板敷設等による荷重分散をお願いする場合があります。(ブース内は出展者負担、共有通路は主催者負担)
- ④クレーン車でアウトリガーを使用して作業を行う場合、総重量(クレーン車自重+吊り込み物重量)に応じて以下の荷重分散が必要となります。いずれの場合も、鉄板および養生板の中心にアウトリガーが重なるように配置してください。
 - a.7t以下/箇所
クレーン車に付属している養生板(50cm×50cm程度)による荷重分散(電気・機械ピット、サブピットの蓋上は避けること)。
 - b.7t超～15t以下/箇所
クレーン車に付属している養生板+鉄板(厚みが22mm以上で1.2m超×2m超のもの)による荷重分散。
 - c.15t超～30t以下/箇所
クレーン車に付属している養生板+鉄板(厚みが22mm以上で1.2m超×2m超のもの)による荷重分散またはH形鋼による荷重分散。鉄板による荷重分散を行う場合、電気・機械ピットを跨いで1枚の鉄板でPC板4枚に対して均等に荷重が掛かるように配置すること。
 - d.30t超/箇所
事前にご相談ください。
- ⑤荷重分散のための鉄板およびH形鋼敷設位置については、申請書類に基づき幕張メッセにて確認のうえ変更をお願いする場合があります。
 - ★重量物搬入出車両の下に鉄板等敷設をしなくても良い停車位置のヒント。
⇒できるだけ多くのPC板に荷重を分散させることが必要です。
車両の両端のタイヤが電気・機械ピット(サブピットは関係ありません)を跨ぐような停車位置としてください。
- ⑥展示会場入口から停車位置までの走行経路は、提出書類をもとに別途調整します。